

【旧病院】什器・備品および医療機器等処分業務

入札仕様書

（什器・備品等 篇）

地方独立行政法人新小山市民病院

事 務 部

本仕様書は、新病院移転に伴い旧施設の解体前までに旧施設内に残置される備品・什器等の処分業務の内容について示したものである。

また、これら作業等が安全衛生および環境への配慮を行い、安全且つ円滑に業務を実施しなければならない。

1. 業務概要

(1) 新病院移転後の旧病院の備品・什器等の処分

(2) 施設概要

- ① 施設名称：旧病院
- ② 施設の場所：栃木県小山市若木町 1－1－5
- ③ 延床面積：18,097 m²

2. 業務内容

(1) 業務内容

旧施設内に残置される備品・什器等の解体撤去・分別・集積、搬出、引取（資源ごみ等）・運搬および処分等の作業

(2) 備品・什器類の範囲

- ① 備品・什器
消火器以外、すべて。
- ② 厨房機器類
建物と一体になったプレハブ冷凍・冷蔵庫以外、すべて。
- ③ 消耗品類
すべて。
- ④ 紙類
すべて。

（壁面に掲示されているものも、取り外して処分のこと）

⑤ 家電・PC 類

下記以外、すべて。

※ 医事課計算室内の設置＝情報システムサーバー

同 ＝リコー製複写機

※ 救急初療室に集積＝富士通製パソコン類

※ 電話交換機室に設置＝電話交換設備

※ 別館 1 階に設置＝理想科学製印刷機

（パソコンの処分については、処理証明を提出すること）

（家電リサイクル法で定められた家電製品については、法に基づいた手続きにより処理を行うこと）

⑥ 設備類

下記以外の取外し可能なもの、すべて。

- ※ 消火設備
- ※ 機械警備設備
- ※ 各病棟設置のコインランドリー
- ※ 敷地外の医療用液化酸素貯槽設備

⑥ その他

絵画、手すり、案内サイン、時計、LAN ケーブル、電気コード、電気ケーブル等も対象とする。

建物外の車庫内、プレバブ倉庫内の備品類も対象とする。

(3) 現場確認

入札参加者は必ず事前に現場を確認し、査定すること。

なお、査定に要する費用は、全額入札参加者の負担とする。

(4) 履行期間

契約締結の日から平成28年3月31日まで

(5) 搬出口

現地事前確認のこと

(6) その他

電気は平成28年3月31日までしか使えない。

3. 関係官公署への諸手続き

必要な関係官公署に対する諸手続きは監督員と協議のうえ、受託者の責任により遅滞なく行うこと。

4. 報告書類

廃棄機器等は、関係法令に従い適正に処分し、報告書およびマニフェストを監督員（当院）に提出すること。

5. 成果物

各作業工程における状況を写真撮影により管理し、成果物として整理すること。

また、関係官公署への諸手続き等に係る関係書類は成果物として編纂し整理しなければならない。

6. 入札額算出方法

①「引取（買取）」

入札者が代金を支払うことを見積った場合には負（マイナス）の数値で算出すること。買取額は、必要な一切の費用（撤去、運搬、処理費等）を差し引いた金額とする。

※ 海外への輸出も可能とするが、物品を買い取る際には、1点であろうとも買取証明書を作成し、提出すること。

②「処分」

入札者が代金を受け取ることを見積った場合には正（プラス）の数値で算出すること。処分額は、必要な一切の費用（撤去、運搬、処理費、マニフェスト代等）のすべてが含まれたものとする。

上記方法により算出した額を（①＋②）＝入札額（税抜）とする。

7. 処分対象機器にフロンや水銀を含有しているものがある場合、その処理については、対象法令に基づき処理ならびに処分報告をするものとする。

8. その他

- ① 上記事項に明示していない事項でも、業務遂行上または技術上当然必要と認められる事項については、受託者の責任において行うこと。
- ② 業務の安全については十分気をつけて行うこと。
- ③ 廃棄物については、飛散・流失しないよう注意すること。
- ④ 仕様書に疑義が生じた場合は、両者協議を行うものとする。
- ⑤ 引渡しの際および引渡し後において生じた問題については、すべて受託者の負担において責任をもって対応することとし、当院は一切の責任を負わないものとする。